

JOSA カップ

第17回大阪湾ダブルハンドヨットレース 帆走指示書（S I）

2020年9月24日25日
淡輪ヨットハーバー・大阪北港マリーナ

2022. 8. 31 Ver1.00

1、適用規則

- 1.1 本レースは、「セーリング競技規則2021-2024（RRS）」に定義された規則を適用する。
- 1.2 本レースにおいて適用する全ての規則において、次のとおりとする。
 - 1.2.1 [NP] は、この規則の違反の艇は、艇による抗議の対象とならないことを意味する。
これは、RRS 60.1 (a) を変更している。
- 1.3 付則T（調停）を適用する。
- 1.4 レース公示と帆走指示書の適用に違いがある場合には、帆走指示書を優先させる。

2、競技者への通告

競技者への通告は、淡輪ヨットハーバー内に設置された公式掲示板にて行う。

3、出艇申告 [NP]

出艇申告は、2022年9月24日の淡輪ヨットハーバー内に設置したレース本部にて行うものとする。なお、9月25日には出艇申告を受け付けない。

4、帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、次のいずれかによるものとする。

- 4.1 開催日の06:00までに、主催団体のホームページまたはレース本部への掲示。
- 4.2 開催前日の艇長会議において、出艇申告を完了させた全艇が承諾した口頭による通知。
- 4.3 開催日において、予告信号前に、水上に参集した各艇が承諾した口頭による通知。

5、陸上で発する信号 [NP]

- 5.1 陸上で発する信号は、淡輪ヨットハーバーのレース本部のポールに掲揚される。
但し、掲揚は出艇申告受付開始前から予告信号までとする。
- 5.2 AP旗が音響2声と共に掲揚された時は（降下の時は音響1声）、「レースは延期された。予告信号はAP旗の降下後30分以後に発せられる」ことを意味する。これはレース信号、AP旗を変更している。

6、日程

2019年9月24日（土）	淡輪ヨットハーバー
15:00～16:00	インスペクション *ジャックラインの装着確認を行います
16:00～16:25	出艇申告
16:30～	大会開催の挨拶、艇長会議
17:30～	前夜祭（バーベキューコーナー）

2019年9月25日(日)

6:55	予告信号(淡輪ヨットハーバー沖)
15:00	タイムリミット
16:00	表彰式(大阪北港マリーナ内メルボルンハウス)

但し、レースの状況により早める事があります

7、レース艇の識別 [NP]

レース参加艇は出艇申告時に配布するレース旗(JOSA旗)をレース終了まで、バックステイにデッキ上1.5m以上の高さに取り付けなければならない。

8、レースエリア

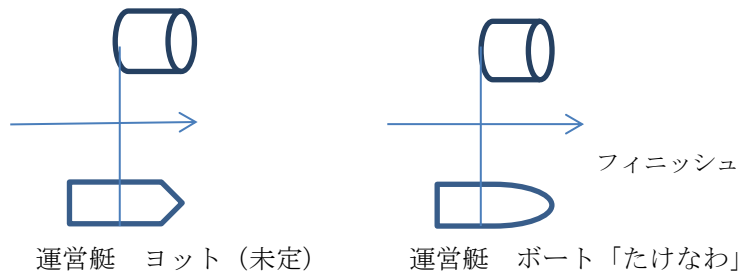
大阪湾・関西空港島南沖から西宮一文字堤防南側沖への海域

9、コース

9.1 淡輪ヨットハーバー沖に設置されるスタートラインから西宮一文字堤防南側沖に設置されるフィニッシュラインまでの約2.5マイルのレグ。 付属文書1の海図のとおり

9.2 通過すべきマークの順序、及び通過する側を示す。

スタート：淡輪ヨットハーバー沖 フィニッシュ：舞洲沖



9.3 帆走禁止区域を設ける

- ① 関西空港連絡橋の下(関西空港島の西側を北上してください)
- ② 関西空港を囲む、空港島A~F灯標で示された海域

9.4 関西空港南西端の関空島D灯標(34° 25.7' N-135° 11.6' E付近)の西側を通過する事
(付属文書2参照)

9.5 舞洲沖新島の南西にある大阪灯標(34° 36.2' N-135° 20.1' E付近)の西側を通過する事
(付属文書3参照)

9.6 フィニッシュラインは34° 39' N-135° 20' E付近に設置する

9.7 [NP] 付属文書1の海図に示されたコース図は、関西空港島から西宮一文字堤防沖に至るコースを示したものである。海図に記載した実線は概位であり、位置の不正確さは艇による救済要求の根拠にはならない。この項はRRS60.1(b)を変更している

10、マーク

スタートマークは、黄色の立方体(又は円柱形)ブイを使用する。

フィニッシュマークは、オレンジ色の円柱体ブイを使用する

11、コミッティーボート

スタート側本部艇として、ヨット(艇名は艇長会議で発表します)を使用する。

フィニッシュ艇として、OHYCレスキュー艇「たけなわ」を使用する。

12、スタート

12.1 レースは、RRS 26に従ってスタートする。

信号	旗と音響	スタートまでの時間
予告	OHYC 旗掲揚・音響1声	5分
準備	P 旗又は I 旗掲揚・音響1声	4分
1分前	準備旗降下・長音1声	1分
スタート	OHYC 旗降下・音響1声	0分

12.2 全クラス同時スタートとする

12.3 スタートラインは、淡輪マリーナ沖に設置するが、海況等により変更(北上)させることがある。この場合、運営艇はL旗を掲揚して移動する。

12.4 スタート信号後の30分以降にスタートする艇は、「スタートしなかった」と記録される。これは付則A4を変更している。

13、リコール

13.1 リコールは、RRS 29.1により信号が発せられる。

13.2 [NP] スタート信号時に、艇がRRS 29.1(個別リコール)に従わなければならない場合、レース委員会は音響信号1声と共にX旗を掲揚し、VHFチャンネル73で、その艇の艇名又はセール番号を送信するように努める。この送信が出来なかったり、送信の時期が適切でなかったとしても、救済要求の根拠にはならない。この項はRRS 62.1(a)を変更している。

14、ゼネラルリコール

14.1 ゼネラルリコールは、RRS 29.2により信号が発せられる

14.2 ゼネラルリコール後の再スタートは、原則として10分後を予定する。

15、フィニッシュ

フィニッシュラインは、コミッティーボートのクラブ旗を掲揚したポールとフィニッシュマーク(オレンジ色)との間とする。

16、一時的なエンジンの使用

RRS 42.3(h)を次のとおり変更し、適用する。

16.1 艇は次の条件で、そのレースで著しく有利にならない場合には、エンジン又はその他の方法で推進することができる。

①コース上の障害物(灯標、灯浮標、竹竿、発砲スチロールブイや浮玉等)又は船舶との衝突を緊急に防止しなければならない場合。

②強風又は無風、強潮を含む極端な天候から避難しなければならない場合

16.2 艇がエンジンを使用した場合、使用開始時刻、及び停止時刻(又は稼働時間)、及び使用状況(使用開始時点での概位・航走方向・航走距離等)を記録した申告を、抗議締切時刻までにレース本部に提出しなければならない。

16.3 申告に基づき、プロテスト委員会は適当と判断される値の「タイムペナルティー」を課すことがある。

17、タイムリミット

タイムリミットは15:00とする。この時刻までにフィニッシュしなかった艇は、このレースにフィニッシュしなかった(DNF)と記録される。これはRRS35及びA4を変更している。

なお、フィニッシュしなかった艇は速やかにレースコミッティに連絡すること。

18、帰着申告

フィニッシュをもって帰着申告とする。(JOSA旗は返却不要とする)

19、抗議

- 19.1 抗議書は、レース本部で入手できる。抗議、救済要求および審問の再開の要求は、レース終了後90分以内にレース本部に提出されなければならない。
- 19.2 抗議は、出来るだけ早く、ほぼ受付順に審問される。
- 19.3 抗議の通告は、審問の場所及び時間、抗議の当事者、又は証人として指名された者を競技者に知らせるため、抗議受付締切時刻後30分以内に掲示される。
- 19.4 レース委員会、プロテスト委員会またはテクニカル委員会による抗議の公示をRRS61.1[b]に基づき伝えるために掲示する。
- 19.5 帆走指示書3、5、23、24の違反は、艇による抗議の根拠とはならない。

20、順位、得点及び大会の成立

- 20.1 順位は、レースの所要時間(秒)に当レース委員会が決定したハンディキャップ(TCF)を乗じた修正所要時間(秒単位、以下は切捨て)による。尚、参加各艇のTCF値はレース前に別途定める。
- 20.2 クラス内順位、ファーストホーム賞、総合優勝の決定において、所要時間又は修正所要時間が同一の場合は、T.C.F. 値の低い艇を上位とする。

21、失格に代わる罰則

- 21.1 RRS第2章に関わる規則違反については、RRS44.2「2回転ペナルティー」を適用する。
- 21.2 個別リコールに関わる規則違反については、OCSに代わる罰則として、所要時間に5%を加算する「タイムペナルティー」を課す。これはRRS64を変更している。

22、賞

- 22.1 各クラスの第1位と第2位にカップを授与する。
ただし、各クラスの参加申込が5艇以下の場合には、当該クラスは第1位のみの授与とする。
- 22.2 全参加艇で最少修正所要時間の艇に総合優勝とし、副賞としてレース持続化給付金(10万円)を贈呈する。

23、安全規定 [NP]

- 23.1 レース参加艇は、レースの為ハーバーエリアから出港後、レース終了後ハーバーエリアに帰港までの間、個人用浮揚用具(ライフジャケット)を着用しなければならない。
これはRRS40を変更している。
- 23.2 JSAF登録艇が使用するライフジャケットは、「付則Bインショアレース用特別規定」5.01.1に規定されたものでなければならない。
- 23.3 JSAF非登録艇が使用するライフジャケットは、前項の機能を備えた「小型船舶安全規則に規定する小型船舶用救命胴衣(認証済・桜マーク付)でなければならない。

- 23.4 個人用浮力用具、救命胴衣、ハーネス等は、全ての着衣の上に装着すること。
- 23.5 艇はジャックラインを取り付け、レース中は、乗員はハーネスでライフジャケットと繋ぐこと。
レース前日のインスペクションにてジャックラインの装着確認を行います。
- 23.6 艇は、レース海域で使用できる2台以上の携帯電話を携行すること。
- 23.7 艇は、電動ウインチ、オートパイロット、ウインドベーンの使用を認める。
- 23.8 レースからリタイアした艇は、出来るだけ早くレースコミッティーに申し出ること。

24、無線の使用 [NP]

- 24.1 艇は、緊急時を除き、レース中にVHF 73chでの無線送信をしてはならない。
- 24.2 レース委員会は、上記1以外のいかなる通信形態・情報交換の方法も制限しない。この項はRRS41「外部の援助」に該当しないものとする。

25、責任の否定

このレガッタの競技者は自分自身の責任で参加すること。(RRS4 [レースをすることの決定] 参照。) 主催団体は、レガッタの前後、期間中に生じた物理的損傷または身体傷害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

26、大阪北港マリーナでの係留に関して

レース終了後の大阪北港マリーナへの係留に関しては、事前の参加申し込み時に北港への入港、係留を申請した艇のみとします。レース当日の17時を超えて係留する場合は、係留料が発生しますので、別途マリーナへの申し込みをお願いします。

なお、レース当日の潮位が低くなっているため、大阪北港マリーナへの入港は必ず南側(舞洲側)開口部より入港ください。

27、レース本部・緊急連絡

このレガッタのレース本部等は次のとおりとする。

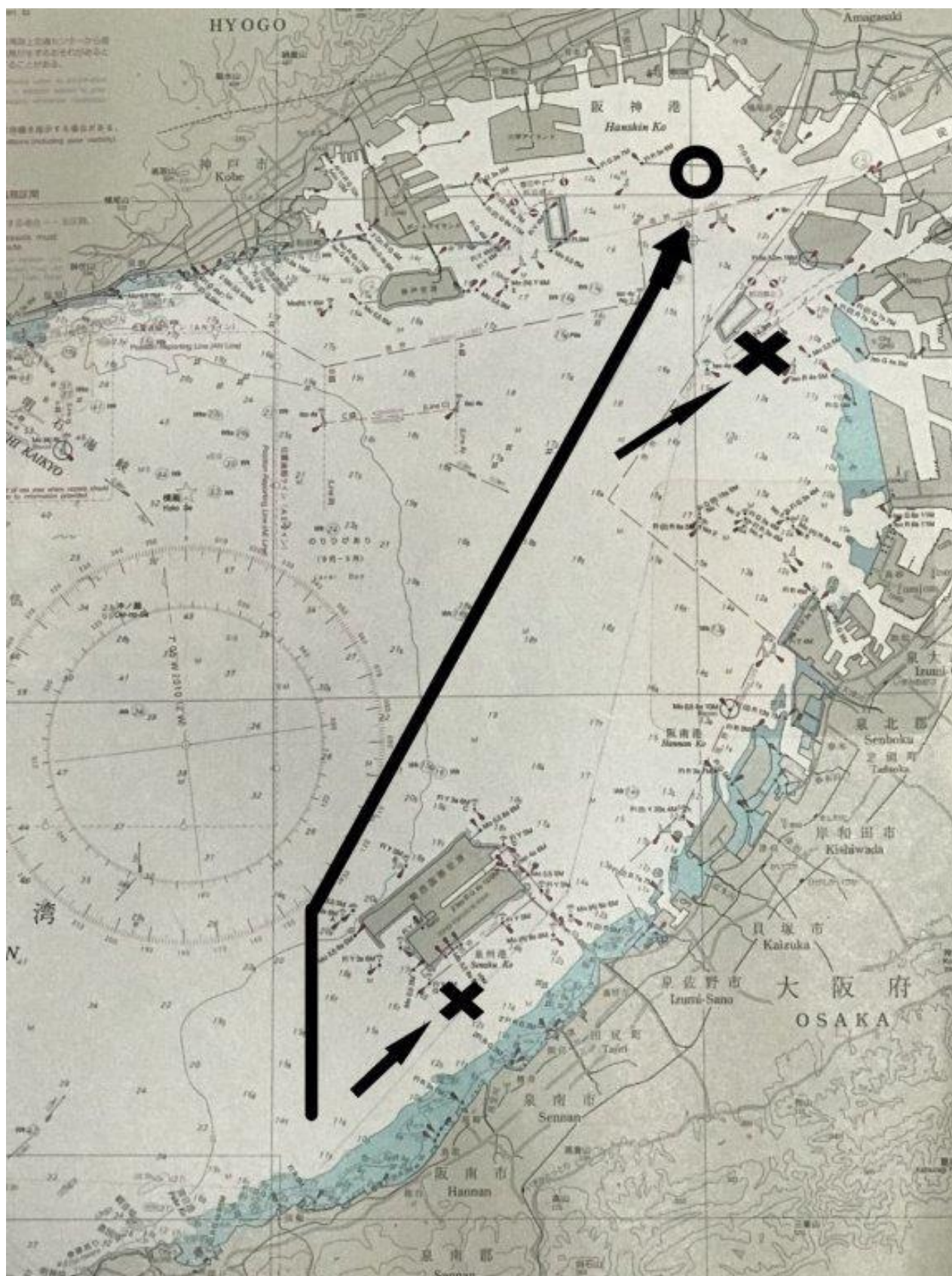
2022年9月24日 淡輪ヨットハーバー内

9月25日 大阪北港マリーナ・メルボルンハウス

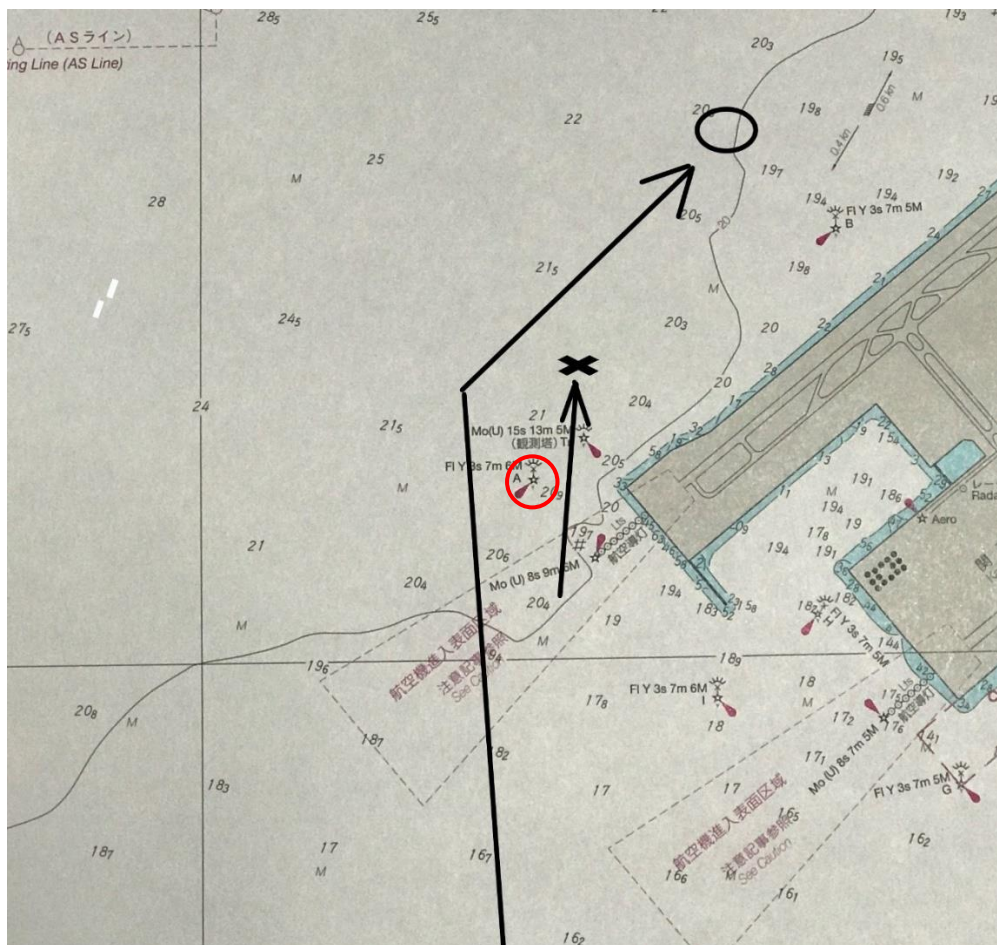
大会実行委員会	大会実行委員長	古地正二	090-6826-1695
	レース委員長	田淵秀博	070-8952-1624
	レース委員	宇都宮則夫	090-5464-2423

以上

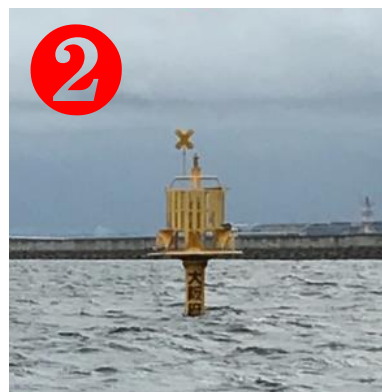
付属文書1 海図（レース海域、コース概略図）



付属文書2 海図（関西空港島南西付近）

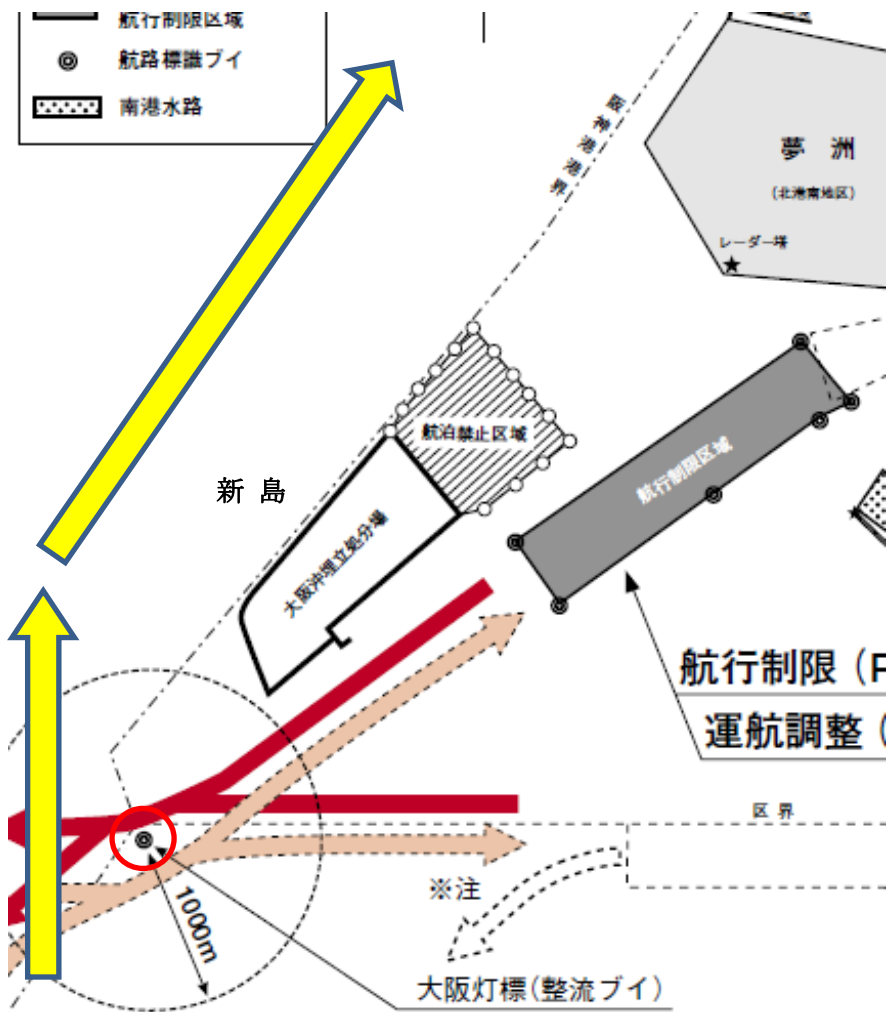


① 関空島D灯標(34° 25.7' N-135° 11.6' E付近) (赤丸)、② 観測塔



* 関空島D灯標①の西側を通過する事

付属文書3 海図（夢洲沖 新島付近）



大阪灯標(34° 36.2' N-135° 20.1' E 付近) (赤丸)



* 大阪灯標の西側を通過する事 (黄色矢印を参照)

改訂履歴

Ver1.00 2022.8.31

・初版